

問 大山小学校の将来は

大山地区の要となる大山小学校の児童減少を憂慮している。小規模特認校として1年経過したが活用されず、児童増につながっていない。西小学校や白岡中学校との連携を図りつつ、今後の方向について当事者を囲んだ協議を始める時期になっているのではないか。

答 地域住民の意見を伺いながら検討する

小規模特認校制度の適切な周知を図り、特色ある教育活動の推進に努める。他校との共同授業等は学校事情を踏まえ提案していく。今後は、将来の市立小・中学校全体の在り方について、保護者及び地域住民からの意見を伺いながら検討していく。



齋藤信治 議員
(WAKABA)

議案
第32号 ▶ 可決

副市長の選任

現副市長（当時）の任期満了により、後任として椎木隆夫氏を選任することに同意した。

問 これまで県で働いていた方を副市長に選任することだが、どのような理由で県からの登用を行うのか。また、選任に至る経緯を伺う。

答 本市においては、厳しい財政状況を踏まえた行財政改革の推進、白岡中央総合病院の移転に伴う基盤整備、都市計画道路白岡宮代線等の大規模事業を予定している。これらの課題解決に当たっては、広い視野に立った検討や判断が求められるとともに、県をはじめとした関係機関との連携をさらに強化することで事業の早期推進が可能となる。このため、副市長に県職員として培った知識や経験に基づく指導力、調整力を有する人材を配置する必要があると考え、県に推薦を依頼した。

問 この副市長候補は、任期4年で呼ぶとのことだが、次期市長選挙が、2年半後である。そこで、市長交代となった場合、残りの1年半の処遇はどうするのか。また、「この副市長候補は、人脈もあり辣腕で、実力者である。」と市長は言っているが、来年には県議選、市議選があり、その後には、県知事選もある。顔ぶれも変動すると予想される。にもかかわらず、そう言い切れる根拠は、どこにあるのか。明確に説明してほしい。

答 市長の任期満了後のことについては、現時点ではお答えすることができない。本人の人柄は温厚であり、今までの経歴を考慮すると、白岡市のために働いていただけの副市長だと確信している。

問 副市長の給与は満額支払われるのか。行財

政改革を進める中で、現副市長は10%減額しているが、同じになると考えていいか。

答 現在のところ、新たな副市長の給与減額については、予定していない。

問 「副市長と信頼関係が築けなかったらどうするのか」、「知事や市長が替わることもあるが大丈夫なのか」と言った質疑があったが、県職員は当市だけでなく、他自治体にも派遣されている。リーダーが替わったからと仕事に対する姿勢が変わるものなのか。どんな思いで自治体に派遣されてくるのか。現在、当市の総合政策部長として県から派遣されている相川部長に伺う。

答 県内の自治体に部長や副市長などという立場で県から職員が派遣されている。各職員とも派遣先の自治体の課題や問題に対して少しでも力になれるようにと思っている。

また、派遣先の首長や環境がかわるということに関わらず、自身が持つ力を最大限に発揮して、各自自治体の役に立ちたいという思いであると推察する。

賛成討論

市の職場風土も職員もうちに閉ざされ、外に開かれていない。議論もうちでしか通用しないものが多い。外部からの刺激、外に開くという観点から、他流試合の場づくりという観点からも、本議案に賛成である。

反対討論

現職（当時）の野口仁史副市長は人格高潔で配慮は細やか、公共心に富み、行政に関する知識・経験も豊富、気力も十分である。このような稀に見る有能な人材を在野に放出してしまうことは市にとって大きな損失だ。